



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日

上場会社名 S I ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7070 URL https://si-hd.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山根 洋一  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 宮後 資正 TEL 03 (6910) 3870  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,417	-	341	-	310	-	191	-
2020年3月期第2四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 191百万円 (-) 2020年3月期第2四半期 -百万円 (-)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	17.52	-
2020年3月期第2四半期	-	-

(注) 当社は2019年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前期実績はありません。

(注) 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	5,885	2,007	34.1
2020年3月期	4,814	1,826	37.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 2,007百万円 2020年3月期 1,826百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	-	-	1.00	1.00
2021年3月期	-	0.00	-	-	-
2021年3月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において中間期末及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定とさせていただきます。

(注) 当社は2019年10月1日に単独株式移転により設立されたため、2020年3月期の中間配当の実績はありません。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。連結業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表します。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 -社（社名） -、除外 -社（社名） -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	11,330,000株	2020年3月期	11,330,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	379,268株	2020年3月期	379,368株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	10,950,652株	2020年3月期2Q	-株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、2019年10月1日に株式移転により株式会社やまねメディカルの完全親会社として設立されましたが、連結の範囲に実質的な変更はないため、前年同四半期と比較を行っている項目については、株式会社やまねメディカルの2020年3月期第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)との比較を行っております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界規模で拡大する新型コロナウイルス感染症拡大により社会・経済活動の停滞の影響から景気の急速な悪化が進んでおり、極めて厳しい状況が続いております。段階的な社会経済活動の再開に伴い景気動向は持直しの動きはみられるものの、回復の足取りは非常に緩やかであり、従前のような状況に至るまではかなりの期間を必要とされると思われまます。経済活動再開によるさらなる感染拡大の懸念も大いにあるなかで、今後の先行きに関しましてはまったくもって予断を許さない状況が継続しています。

このような経済状況のもと、当社グループに於いては、ご利用者様と従業員の安全を最優先に考えた感染防止の取り組みを継続的に進めながら、「社会的価値と経済的価値の統合による企業価値の最大化」と「価値創造の永続的連鎖」の実現を企業理念に挙げ、『豊かな超高齢社会創造計画』として、①高齢者住宅インフラ整備プロジェクト、②高齢者向け生活支援サービス整備プロジェクト、③経営支援サービス推進プロジェクトの3つのプロジェクトを推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間におけるケアセンター事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により前半では多くの総合ケアセンターでご利用者様の利用控えが一時的に発生しましたが、サービス減少回避への企業努力と当社ケアセンターの感染予防対策に対する施策のご理解が進むにつれ回復傾向にあり、合わせて経費削減の徹底により、前年同四半期比増収増益となりました。

フードサービス事業においても、営業活動等を着実に進めた結果、前年同四半期比増収増益となりました。

また、その他事業においても、多様な新規事業への取り組みを含めて積極的な業容の拡大を図っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの営業収入は4,417,288千円(前年同期比11.0%増)、営業利益は341,848千円(同58.1%増)、経常利益は310,925千円(同71.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は191,905千円(同30.6%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,104,809千円となり、前連結会計年度末に比べ1,158,554千円増加いたしました。これは主に借入に伴う現金及び預金の増加によるものであります。固定資産は2,777,363千円となり、前連結会計年度末に比べ87,805千円減少いたしました。これは主に税効果会計処理に伴う繰延税金資産の減少によるものであります。この結果、資産合計は5,885,038千円(前連結会計年度末比1,070,449千円増)となりました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は797,575千円となり、前連結会計年度末に比べて110,447千円増加いたしました。これは主に未払法人税の増加によるものであります。固定負債は3,080,117千円となり、前連結会計年度末に比べて779,559千円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加によるものであります。この結果、負債合計は3,877,693千円(前連結会計年度末比890,006千円増)となりました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,007,345千円となり、前連結会計年度末に比べて180,443千円増加いたしました。これは主に当第2四半期連結会計期間において親会社株主に帰属する四半期純利益191,905千円を計上したことによるものであります。この結果、自己資本比率は34.1%となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、1,483,523千円となり、前連結会計年度末に比べ958,864千円増加いたしました。これは堅調な営業活動に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による不測の事態に対応する目的で、長期借入金(国からの優遇融資)により資金調達したものであります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は222,322千円となりました。これは主に、売上債権の増加115,781千円、法人税等の支払25,315千円等の資金減少要因はありましたが、税金等調整前四半期純利益311,012千円、減価償却費74,485千円等の資金増加要因があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は25,596千円となりました。これは主に、敷金および保証金の回収による収入3,102千円がありましたが、有形固定資産の取得による支出23,643千円、無形固定資産の取得による支出4,425千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は762,140千円となりました。これはリース債務の返済による支出41,923千円、配当金の支払10,936千円等がありましたが、長期借入れによる収入815,000千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症は、海外では再拡大の様相であり、国内においてもいまだ終息の兆しが見えず、経済活動拡大の動きとともにさらなる感染拡大も懸念されております。このような中、当社グループといたしましては、ご利用者と従業員の安全を最優先に考え、新型コロナウイルス感染症防止への取組を徹底した上で、『豊かな超高齢社会創造計画』の推進に引き続き邁進してゆく所存です。

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症再拡大の影響等で施設の利用が抑制される等、事業環境の見通しが未だ不透明であり、現時点でその影響額を適正かつ合理的に算定することは困難であるため、未定としています。今後、合理的な予想の開示が可能となった時点で、速やかに公表致します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	524,659	1,483,523
営業未収入金	1,285,233	1,403,487
その他	161,751	252,562
貸倒引当金	△25,388	△34,763
流動資産合計	1,946,255	3,104,809
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	2,075,255	2,022,049
その他(純額)	123,173	126,541
有形固定資産合計	2,198,428	2,148,591
無形固定資産	7,143	10,209
投資その他の資産		
敷金及び保証金	608,379	605,905
繰延税金資産	46,612	8,421
その他	4,607	4,235
投資その他の資産合計	659,598	618,562
固定資産合計	2,865,169	2,777,363
繰延資産	3,165	2,864
資産合計	4,814,589	5,885,038
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	134,352	159,379
リース債務	83,687	82,592
未払金	349,679	355,384
未払法人税等	21,830	60,505
預り金	54,327	59,473
その他	43,253	80,239
流動負債合計	687,128	797,575
固定負債		
長期借入金	-	815,000
リース債務	2,113,821	2,072,993
退職給付に係る負債	3,961	3,833
資産除去債務	25,950	26,140
長期預り敷金	156,826	162,033
その他	-	117
固定負債合計	2,300,558	3,080,117
負債合計	2,987,686	3,877,693

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	501,788	501,782
利益剰余金	1,390,934	1,571,947
自己株式	△166,543	△166,498
株主資本合計	1,826,180	2,007,231
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	307	113
その他の包括利益累計額合計	307	113
新株予約権	415	-
純資産合計	1,826,902	2,007,345
負債純資産合計	4,814,589	5,885,038

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業収入	4,417,288
営業原価	3,536,479
営業総利益	880,808
販売費及び一般管理費	538,959
営業利益	341,848
営業外収益	
受取手数料	239
償却債権取立益	275
雑収入	5,593
営業外収益合計	6,108
営業外費用	
支払利息	33,425
雑損失	3,606
営業外費用合計	37,031
経常利益	310,925
特別利益	
新株予約権戻入益	402
特別利益合計	402
特別損失	
固定資産除却損	316
特別損失合計	316
税金等調整前四半期純利益	311,012
法人税、住民税及び事業税	80,916
法人税等調整額	38,190
法人税等合計	119,106
四半期純利益	191,905
親会社株主に帰属する四半期純利益	191,905

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	191,905
その他の包括利益	
退職給付に係る調整額	△193
その他の包括利益合計	△193
四半期包括利益	191,711
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	191,711
非支配株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	311,012
減価償却費	74,485
固定資産除却損	316
新株予約権戻入益	△415
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,375
賞与引当金の増減額(△は減少)	515
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△320
支払利息	33,425
売上債権の増減額(△は増加)	△115,781
仕入債務の増減額(△は減少)	25,027
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	12,102
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	5,325
その他	△74,004
小計	281,062
利息の支払額	△33,425
法人税等の支払額	△25,315
営業活動によるキャッシュ・フロー	222,322
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
敷金及び保証金の差入による支出	△629
敷金及び保証金の回収による収入	3,102
有形固定資産の取得による支出	△23,643
無形固定資産の取得による支出	△4,425
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,596
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入れによる収入	815,000
配当金の支払額	△10,936
リース債務の返済による支出	△41,923
財務活動によるキャッシュ・フロー	762,140
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	958,864
現金及び現金同等物の期首残高	524,659
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,483,523

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注2)	合計	調整額 (注3.4)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注5)
	ケアセンター 事業	フードサー ビス事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	3,798,741	594,002	4,392,743	24,545	4,417,288	-	4,417,288
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	305,928	305,928	94,691	400,619	△400,619	-
計	3,798,741	899,930	4,698,671	119,236	4,817,907	△400,619	4,417,288
セグメント利益	345,912	58,538	404,450	△58,890	345,560	△3,712	341,848

- (注) 1. 前第4四半期より新たに「フードサービス事業」を報告セグメントに表示しております。  
 2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、介護用品事業、健康食品事業、人材紹介・人材派遣事業等を含んでおります。  
 3. 売上高の調整額は、内部の売上高であります。  
 4. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社収益24,720千円及び全社費用△29,202千円、その他調整額771千円が含まれております。全社収益は、各グループ会社からの経営指導料等であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。  
 5. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。